

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	代替エネルギー船舶に関する総合対策		担当部局	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24～		担当課室	安全・環境政策課		課長 加藤光一		
会計区分	一般会計		施策名	海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	エネルギー基本計画 「革新的なエネルギー・環境戦略」策定に向けた中間的な整理 国土交通省新造船政策検討会				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	天然ガスを燃料とした船舶(天然ガス燃料船)については、船舶構造や機関などのハード面や、燃料供給や船員教育などの運用・ソフト面の安全基準等が未整備であるため、その実用化・導入が妨げられている。このため、これらの基準の策定等により天然ガス燃料船の実用化・導入を促進する環境を整備し、地球温暖化・大気汚染等の環境問題へ対処するとともに、我が国海事産業の国際競争力の強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	天然ガス燃料船に係る、ハード(船舶)・ソフト(燃料供給・船員教育等)の安全基準の検討、国際基準化等を戦略的に推進する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0	647	
	執行額	0	0	0				
	執行率(%)	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、天然ガス燃料船の関する安全基準、燃料供給、船員訓練等に関する安全基準を策定する上での調査事業であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本事業は、天然ガス燃料船の関する安全基準、燃料供給、船員訓練等に関する安全基準を策定する上での調査事業であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績(当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	646,514,000円(要望額/事業数)		算出根拠	要望額(646,514,000円)/天然ガス燃料船に係る事業数(1事業)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	1					
	職員旅費	0	2					
	委員等旅費	0	0					
	海事産業市場整備等推進調査費	0	644					
	計	0	647					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		天然ガス燃料船の係る船舶の安全基準、燃料補給や船員教育等の安全基準の策定のための調査を行う上で、効率的かつ適正な予算執行に努める。	
予算監視・効率化チームの所見			
	-	持続可能な低炭素・循環型社会の構築の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			